

1 現状と課題

- (1) 企業局の事業概要が丁寧に書かれていない(ある程度企業局を知っている人向けの内容)
- (2) R元に改訂後、その後の状況を継ぎはぎ的にマイナーチェンジ(経営戦略など後付けで構成)
- (3) パンフレット内容が必ずしもターゲットに合っていない可能性

【配布実態】 経営推進：審議会委員、広報での連携先 など

電気：視察受入時、発電所見学会等イベント時配布 など

水道：視察受入時 など（施設見学の際は水道に特化した説明資料を配布）

【主な意見】

・そもそも、企業局とは何なのか(県組織の一部であることの説明)、電気事業・水道事業とは具体的に何なのかを冒頭に掲載すべき。

・イベントなどで「おまけ」で配布するだけでは本来の使い方ではない。

・電気事業・水道事業それぞれ単独でも使えるパンフレットを作成してはどうか。

2 改訂の方向性

- (1) 企業局の事業内容を丁寧に説明するページを設ける
- (2) 時代により変わらない柱を設ける(事業内容、経営戦略、概況など)
- (3) 深く説明する場合の他、広く一般向けに(パンフレットほど厚くなく、気軽に渡せる)
リーフレット等を別に作成してはどうか。(webページを作成しQRコードで誘導も)

1 ターゲット(誰に)

「誰」に「何をしてほしい」かを意識

➤ 企業局事業のステークホルダー

✓ 事業内容を伝える

県民、取引先企業、学生・就職希望者、職員、来訪者

✓ 理念、評価を伝える

県民、漁協等地元関係者、「信州Greenでんき」・県営水道ユーザー、学生、職員

2 企業局のミッション(何を訴えるか)

具体的なイメージを示し共感してもらう
理想ではなく、必ず成し遂げるという意気込み

➤ 水の恵みを未来へつなぐ

長野県の豊富な水資源により、県民生活を支えるライフラインの維持確保を担う

✓ 2050ゼロカーボン実現に向けた「再生可能エネルギーの供給拡大」と「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」の具現化

✓ 将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立

3 バリュー(企業局が提供できる価値は)

公営企業だからこそできること、やるべきこと

➤ 再エネ供給拡大・普及拡大、安心・安全な水道水の供給

➤ 地域貢献、地域連携

一般会計繰出しによる利益還元、地域連携型発電所建設(支援)、電力の地消地産
県内水道事業者支援、応援給水、安心の蛇口、ペットボトル水

1 R1改定時コンセプトや現行パンフレットも踏襲しつつ検討

【参考:R1改定時コンセプト】

(1) 表紙コンセプト

- ・「信州らしさ」「ロゴマーク・キャッチフレーズを配置」を前提に余計なイメージを入れない、
純粋に水(安心感を与える穏やかな水面)を表現する絵画的デザイン

(2) 誌面統一コンセプト

- ・ ロゴマークで使用している色及び同調色以外は極力使わない。
- ・ 余白は残し共通のデザインとする。

2 ページ構成

【現行】

項	分類	内容
1	表紙	キービジュアル、ロゴマーク
2-3	トップメッセージ	管理者メッセージ
4-7	経営戦略に基づいた取組	
8-11	電気事業	電気事業の概要
12-15	水道事業	水道事業の概要
16-17	年表(過去～現在)	年表
18-19	概況図等	概況図、施設一覧
20	裏表紙	ロゴマーク解説、連絡先 等

追加検討要素を含め見直し

(終了事業を含めた)公営企業としての使命、ストーリー

企業局の事業内容・概要を丁寧に

ロゴマークやキャッチフレーズに込めた想い

信州Greenでんき／県営水道ユーザー等の声を掲載してはどうか

旧年度のパンフが無駄にならない工夫(情報更新の仕方)